



第19期経営指針発表会を開催しました



発行 / 株式会社 電建

〒660-0805

兵庫県尼崎市西長洲町1丁目2-45

TEL: 06-6489-2222

FAX: 06-6489-2223

WEB: <http://m-denken.com>

With your company

でんけん 倶楽部 NEWS

2026.9 第 144 刊

笑顔

社長の独り言

松本晃幸



『笑顔の人と、しかも面の人があります。町で道を尋ねるなら貴方は、どちらの人に話しかけますか』この問いに対してほぼ100%のひとが笑顔の人だと思っています。

神社などで行われる「お祓い」の語源は「笑う」だそうです。笑う門には福来ると言いますが、笑っている幸せが訪れ、邪気も祓うのだという事ですね。

私は、ようやく五十歳代後半の今、「顔相が変わりましたね」と言っていただけが多くなりました。年齢を重ねると、男性も女性も、普段の顔が怒っているように見えるそうです。気を付けなければなりませんね。

先日、一泊の研修が某所にて開催されました。その施設の経営者の方が、我々参加者をアテンドしてくださいました。彼女が学生の頃にその企業の社長に感銘を受け、入社され、現在はその宿泊施設の経営者に抜擢されたのだそうです。業績は登り調子で今後、更に発展されると思います。経営体験談も話していただきましたが、素晴らしいお話でした。

私の好きな作家「喜多川泰」さんの書籍で「運転者」という書籍があります。小説は、主人公が不思議なタクシー運転手と出会うところから、物語は始まり

ます。その主人公はいつも不機嫌で、仕事の営業もうまくいかず、さらに不機嫌です。あらゆるチャンスに巡り合っているのに、それに気が付かない。理由は損か得か、利己的な話の進め方、先入観が原因だったのです。そして「足るを知る」今すでに多くの奇跡的な出会いで幸せになれている事に気が付きます、というお話です。運を転がす、で運転者・是非ご一読くださいませ。

「小才は縁に出会って縁に気付かず 中才は縁に気づいて縁を生かさず 大才は袖すり合った縁を生かさず」最近出会う素晴らしい人格の方は、自分よりも劣るような人の話にも笑顔で耳を傾けてくださり、ご自身が学ばうとされたり、アドバイスをくださったたりします。

『なるほど、だから人格者なのだ』と思うのです。四十、五十は洩垂れ小僧、まだまだ精進して参ります。



今月の 工事あうかるど



工事部
國重 幸太郎

もしもの事故を防ぐ！VCB更新工事

今月は神戸市の製造業のお客様にてVCBの更新を行いました。

VCBとは高圧受変電設備の主遮断装置として用いられる遮断機の一つです。つまり建物全体の電気のスィッチのようなもので、これをオフにすれば建物中の電気が止まることになります。

機器の用途として、電気を安全に手動で入切りするのはもちろんのこと、短絡（ショート）や地絡（漏電など）といった電気事故が発生した際には、異常を検知する監視装置と連動し、自動的に電気を遮断することで、事故の拡大を防ぎます。

事故が起きた際の最後の砦となる非常に大切な機器になるので、この機器が故障しているると、万が一事故が起きた際に波及事故を引き起こしてしまう可能性があります。

今回の工事でも、既設VCBを新しい機器へ更新し、万が一の電気事故にも確実に対応できる状態を整えました。

これからもお客様が安心して事業を続けられるよう、電気設備の安全・安定稼働をサポートしてまいります。



電建 diary



工事事務
中安 春奈

目標達成ノート

8月から、社内の有志で目標達成ノートを使用することになりました。目標達成ノートとは原田隆史氏が監修したものです。マンガラを用いた目標設定や、毎日行うルーティーンを設定して書き込んでいくというもの。ノートの中で特に良いなと思ったのが「ルーティーン行動」です。毎日行うルーティーンを決め、毎日の結果を○△の記号で記録していくもの。私は毎朝晩5分ずつ瞑想する、毎日1ページ以上読書する等を挙げています。小さい行動ですが、この行動を積み上げていくのを目にすると、自己効力感が上がっていつているのが分かりました。

また、毎ページに「今週感じたいプラス感情」という項目もありますが、これも良い！ここに「幸せ・嬉しい」等の言葉を書いて、見返すことで早くプラス感情に戻れるのです。

このノートは自己効力感を高めることに重きを置いています。「自分はできるんだ」という感覚を持つことができれば、自分の存在を心から肯定できるようになると思います。このノートはその感覚を可視化する素敵なツールです。手帳としても使えるので、気になった方は是非お手にとってみてください！



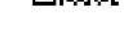
経営理念

夢への挑戦

私達は電気工事を通じて日本経済の発展を支え
関わる全ての人々の愛が溢れる社会を実現します

会社概要

社 名	株式会社電建
所 在 地	〒660-0805 尼崎市西長洲町1丁目2-45
T E L	06-6489-2222
F A X	06-6489-2223
E - m a i l	info@m-denken.com
U R L	https://www.m-denken.com
事 業 内 容	電気設備工事、空調・換気設備、通信関連設備 防犯・防災設備、その他電気機器販売





工事部
佐藤 友裕

電建の風



松本 晃幸

電建フィロソフィー

電建には全社員で大事にしていきたい考え方を電建フィロソフィーとして定めています。

フィロソフィーとは哲学、社員として、というよりも人として、正しいものの見方、考え方を大事にしたいと考えています。中身は、東洋哲学が中心です。更にスポーツや実験から学んだこと、大経営者の方々、歴史上の人物の残して下さった哲学を含んでいます。

ビジネスをしていると経営者でなくても、私達人間には、どうしても損得勘定、執着、防衛心、虚栄心、が湧いてきます。そんな時に、「経営理念」だけでなく、「フィロソフィー」が有るといことで、心が良みにたち返り、そのブレを修正できると私たちは信じています。

先日、若手社員が「フィロソフィーのおかげで、落ち込んだ後に腐らず進むことが出来た」と言ってくれました。



メーターの検針を楽に

集合住宅やテナントビルを管理する方にとって、大きな負担の一つが「メーターの検針」です。毎月現地まで行って数値を確認し、記録して、会社に戻ってからパソコンへ入力。台数が多くなるほど、時間と人手が必要になります。また、読み間違いや転記ミスなどのリスクもあります。こうした検針業務を効率化できるのが、三菱電機の「モバイル検針」です。

まず、対応する既設のメーターに検針モジュールを取り付けるだけで、iPhoneやiPadを使い、Bluetooth通信で、現地で複数台をまとめて検針。データはパソコンへ送信することもできます。

さらに、クラウドサービスを活用すれば、現地に行かなくてもデータを集約・管理する事ができます。しかもこれは、電気だけでなく水道・熱量のデータも読み取る事ができます。

「検針に時間がかかる」「人手が足りない」と感じている方は、現在お使いのメーターから検針業務の効率化を考えてみてはいかがでしょうか。



電気工事士奮闘記



工事部
松本 雄大

緊急要請、現場へ急行！

先日の現場にて、電線や電柱が地中化されているエリアだったため、「UAS（地上設置型高圧交流負荷開閉器）」を設置しました。

UASとは、電柱に設置されている「PAS（高圧交流負荷開閉器）」と同じような役割を持つ高圧設備です。万が一、電気設備で異常や事故が発生した際に、電路を遮断し事故の影響を最小限に抑える役割を担っています。

PASとUASの大きな違いは「設置場所」です。PASは主に電柱の上に設置されますが、UASは地面に設置することが出来ます。そのため、今回のような電柱がない地中化エリアでも、高圧設備を安全に保護することが出来ます。

普段、街中で目にする機会は少ない設備ですが、電気を安全・安定して使うためには欠かせない存在です。

「電柱がないなら、どうやって高圧設備を守るの？」——その答えの一つがUASです。私たちは、街の景観を守りながら、見えないところでも電気の安全を支えています。



今月のちよつと一言

お客様の声大賞

6月に展示会で使用するテーブルクロスと椅子カバーを注文した株式会社ハクロマーク製作所様のアンケートに、何気ない感想を書いたところ、なんと「お客様の声大賞」に選んでいただきました。

この株式会社ハクロマーク製作所様はネット注文が可能で、商品ごとの概要が詳しく記載されている点に加え、データをPDFなどの資料形式や、イラストレーター専用ファイルでも受け取れる点が、選んだ大きな理由です。また、ネット注文当日に電話でデータ確認のご連絡をいただくなど、納品までのスピードと丁寧な対応も大変印象的でした。

私たちも日々、工事というサービスをお客様に気持ちよくご利用いただけるよう、品質向上に努めております。今回このような賞をいただけたことは大変光栄であり、大きな励みとなりました。この度はお選びいただき、誠にありがとうございました。



<https://www.hata-maku.com/>

笑顔盛り！



総務経理部
中島 依里

協力業者様交流会

先日、協力業者様を招いての交流会を開催しました。

工事部の皆さんにとっては、普段から現場と一緒に仕事している協力業者様ですが、事務の私にとってはほとんどの方が初対面でした。そんな「初めまして」がいっぱいの中で開催された、今回の交流会。

これまで名前や工事部の方のお話しか知らなかった方々が「本当に実在するんだ！」と少し不思議な気持ちにもなりました。ですが、そんな気持ち以上に実際にお会いしてお話してきたことが、とても嬉しかったです。一気に皆様のことが身近に感じられ、楽しい一時となりました。

今回の交流会を通じて、電建は協力業者様をはじめ、色んな方々に支えていただいているのだと改めて感じました。これからも人とのつながりを大切に、協力業者様との関係をより深めながら、皆様と一緒に良い仕事をしたいと思っています。



電建 photo studio

8.24 ~ 8.28 インターンシップに学生さんが来てくれました！

8.21 協力業者の皆様と夏の交流会開催！